

競技者注意事項

- 1 競技者は競技にふさわしい服装で競技すること。
- 2 競技者は、アスリートビブスを胸と背にはっきり見えるようにつけること。またビブスは、プログラムに記載のものと同じ番号でなければならない。
- 3 小学校の部は、スタート10分前に全員の点呼を行う。それ以外の部は、第1・第2走者はスタート10分前に、第3走者以降は、2区間前の首位の走者が中継スタートした時点で点呼を行う。集合場所は、スタート・中継地点近くの芝生広場部分とする。
なお、集合場所には監督と競技者以外は入らないこと。
- 4 競技者は、道路の左側を走ることを原則とする。ただし、テニスコート及び駐車場の周囲については、歩道を走行するものとする。その際、歩道の幅が狭いので、走者は十分に注意すること。車道部分は、設置コーンの内側を走ること。また、監察員が指示した場合は、監察員の指示に従うこと。
- 5 小学校の部及び女子の部は、野球場外側の部分ですれ違う部分があるので、注意して走行すること。
- 6 一般男子及び中学男子の部は、競技場からの出入の際に、他の競技者と接触する可能性があるため、十分に注意して走行すること。
- 7 競技中に医務員から競技中止を命ぜられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 8 競技者が途中で競技を続行できない状態になった時、または競技を中止させられた場合は、そのチームのその区間の競技を無効とする。ただしそのチームは、審判長の指示に従い、次の区間から再び競技を続行することができる。その場合、チーム全体の記録、成績は認められないが、各区間の記録は認められる。
- 9 渡されたタスキは、必ず肩から脇の下にかけて競技すること。また、タスキを渡す時は、必ず手渡しをすること。
- 10 タスキを渡した競技者は、他の競技者のじゃまにならないように、速やかに走路外に出なければならない。
- 11 競技者が2人以上接近して中継点に近づいた場合、先頭チームに属する走者が左側に、次のチームの走者はその右側に順次並んで待つものとする。
- 12 伴走は一切禁止する。
- 13 その他は、2022年度日本陸上競技連盟駅伝規則による。